

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和２年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
2020-7	走行中ワイヤレス給電のコイル埋設についての研究	東京理科大学 准教授 居村 岳広	A
<p><研究の概要></p> <p>走行中充電における道路側コイルの電気的特性と機械的強度向上させた上で、アスファルトへの埋込み技術確立を目的とする。電気的特性(効率・電力など)と機械的特性(耐久性など)を従来コイルと比較し、経年劣化の評価を行い、埋込み深さの最適化、低コストコイル等の可能性を示す。</p> <p><中間評価結果></p> <p>年度毎の性能目標を明確化し、2021年度についても、効率、電力ともに目標を達成しており、現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><参考意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別研究相互の関係を明確にした上で、システムとして成果をわかりやすく示すことを考えて継続していただきたい。 ・合理的な舗装構造の立案と各種性能の確認を行って、実用に近い形で無線給電道路の施工を実施していただきたい。 ・本研究の終了後、供用中の道路において実証試験を行えるよう、必要な性能をどこまで達成できたかを明確にしていきたい。 			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第45回新道路技術会議において審議したものである。